

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	家庭教育の支援と青少年教育の充実	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		01-01-01		氏名	高橋清隆
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	2.5 時間	

この施策の アピール ポイント	家庭や地域の教育力低下が指摘されている中で、子育て家庭に対して家庭教育支援の必要があります。また、青少年を取り巻く環境もめまぐるしく変化しており、健全育成を支援するためにも街頭巡回等で見守っていく必要があります。
-----------------------	--

この施策の 平成27年度の 施政方針	家庭教育の学習機会の提供や地域における体験活動の情報提供を行っていきます。また、広報・啓発活動や巡回補導活動に取り組み、学校・家庭・地域や関係機関との協働により青少年の健全育成活動を推進・実行していきます。
--------------------------	---

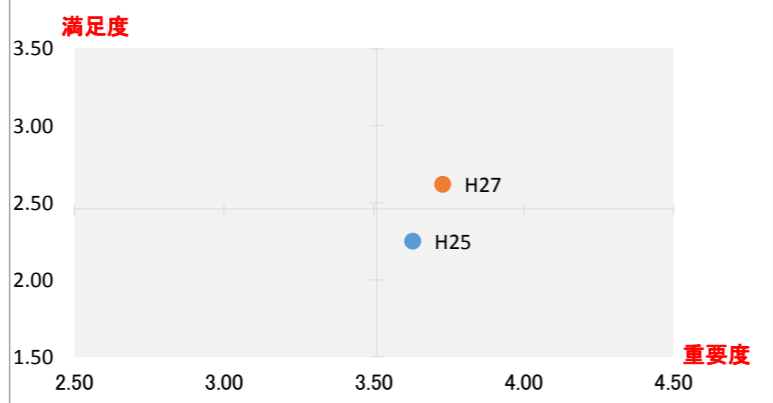
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	重点施策「教育」
	基本計画 (中項目)	将来を担う人材が育つまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市内で子育てをしている保護者に対して、不安や課題を解決するために家庭教育支援を実施します。 市内の20歳未満の青少年に対して、家庭・地域・学校が一体となって健全な成長を支援します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	核家族化、少子化、ライフスタイルの変化等による家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。地域の人間関係が希薄になったことにより、周囲から子供のしつけについて学ぶことができず子育てに自信が持てない親が増えていきます。更に、子どものしつけを外部に任せようと考えている人もいることから、自立に向けて学習機会を設けるなどの機会を設ける必要があります。 また、青少年を取り巻く環境は、いじめ・不登校、非行、有害情報の氾濫など、複雑かつ多様化しています。これらの課題を明らかにし、問題を解決するためには、学校をはじめ関係機関との情報交換を緊密に行うとともに、街頭巡回に積極的に取り組むなど、連携して健全育成に取り組んでいく必要があります。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ・声かけ運動を推進します。</li> <li>家庭教育を支援します。</li> <li>地域の教育力向上を図ります。</li> <li>青少年の健全育成を支援します。</li> <li>家庭教育の不安解消を図るため広報・啓発活動に力を入れます。</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.63	3.73
満足度 (%)		2.25	2.62

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度・満足度ともに上昇していることから、市民の方の認識も子育て世帯や青少年に対する支援の重要性を理解いただいていると考えています。対象者は常に入れ替わっていきますが、地道な取り組みを継続していくことが欠かせない施策だと認識しております。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27				
子どもに、自ら進んであいさつ、声かけをする市民の割合【市民意識調査】	目標	%	80.0	80.0	80.0	市民意識調査結果による (H26・28年度は未実施)	H28	80.0
	実績	%			75.0		H32	80.0
	達成率	%			93.8		H34	85.0
	ベンチマーク						—	—
子ども情報誌「ときめきナビ」を家族と一緒に見て活用している世帯の割合	目標	%	50.0	50.0	60.0	子ども情報誌「ときめきナビ」アンケートの回答集計結果から	H28	60.0
	実績	%	43.0	47.0	49.4		H32	70.0
	達成率	%	86.0	94.0	82.3		H34	70.0
	ベンチマーク						—	—
家庭教育についての懇話会・研修会への参加者数	目標	人	200	200	200	子育て懇話会、思春期懇話会、幼稚園保護者研修会への参加者	H28	200
	実績	人	422	601	238		H32	200
	達成率	%	211.0	300.5	119.0		H34	220
	ベンチマーク						—	—
健全育成を目的とする講演会・懇親会への参加者数	目標	人	900	900	900	育成講演会、育成総会、青少年健全育成大会参加者	H28	900
	実績	人	872	731	645		H32	900
	達成率	%	96.9	81.2	71.7		H34	900
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
企業、店舗、地域など	見守り、あいさつなど、連携した取組	子どもたちがいろいろな場所で安心感が得られる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い					
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)					
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	進んで声掛けをする人が増えることは、子どもたちにとって、地域や学校での一員であることが再認識できる機会であるため、何気ない指標ではありますが、的を得ていると考えています。					
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	手段としては適切である。しかし、連携先や支援者・理解者を増やしていく努力を続ける必要があります。					
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	少子化などで出生率も伸びないことから、家庭で兄弟とも触れ合わない世帯も増えていることから、欠かせない施策であると考えています。子ども情報誌などの活用率が更に上がるように工夫の余地はあると考えています。					
進行年度 (H28年度) の取組内容 (課題解決状況)		地域と学校が連携した取組も増えてきています。今年からは、伊里地区でも青色パトロールの取り組みが始まり、子どもたちの安心安全に貢献しています。また、地区の育成会の活動も積極的に行っておられ、補導件数も減少傾向にあります。					
翌年度 (H29年度) の取組目標		「親育ち応援事業」を引き続き行います。地道な啓発活動と健全育成推進本部を中心とした巡回や見守りを行います。まなび塾十の参加人数も増加し、公民館での人とのふれあいの機会も増えてきています。継続して取り組んでいきます。					
二次評価者コメント		子どもたちに声掛けしてくれる市民が多いことはありがたいことです。これからも、地道な活動になりますが地域力を背景とした様々な施策で、家庭教育への支援をしていきましょう。	基本施策への貢献度 <b>3 中立</b>				
		<table border="1"> <tr> <td>役職</td> <td>教育部長</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>谷本 隆二</td> </tr> </table>	役職	教育部長	氏名	谷本 隆二	
役職	教育部長						
氏名	谷本 隆二						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位: 千円, 人)											施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~☆☆
			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
家庭教育支援事業	家庭教育推進事業	単市	60	1,129	0.14	105	1,209	0.13	143	1,038	0.11	141	☆☆	
	子ども情報センター運営事業	単市	620	2,060	0.26	608	1,473	0.18	637	1,157	0.15	704	☆☆☆	
青少年健全育成事業	青少年健全育成推進本部補助事業	単市	1,500	1,388	0.15	1,500	2,663	0.27	1,300	2,347	0.23	1,500	☆☆☆☆	
	青少年育成センター運営事業	単市	9,416	2,916	0.31	8,460	1,762	0.18	9,197	2,122	0.21	9,902	☆☆☆☆☆	
	青少年活動支援事業	単市	275	1,461	0.20	275	1,951	0.23	275	2,670	0.33	275	☆☆	
この施策に費やした資源 (単位: 千円, 人)			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			11,871	8,954	1.06	10,948	9,058	0.99	11,552	9,334	1.03	12,522		

備前市事務事業評価シート

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成20年度～	根拠法令・例規等	備前子ども情報センター設置要綱	
総合計画	大項目 基本構想	01	重点政策「教育」	問 担当課(室)	生涯学習課生涯学習係	
	中項目 基本計画	01	将来を担う人材が育つまち		合 職・氏名	係長 大西 健夫
	小項目 施策	01	家庭教育支援と青少年教育の充実		先 電 話	64-1841
事務事業名		01	家庭教育支援事業	このシート作成に要した時間 1.0 時間		

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内で子育てをしている保護者。
目 的 (何のために)	子育てに関する課題を解決するために、家庭教育に関する学習支援、交流機会の情報提供等を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	子育て支援についての情報提供や啓発により、行政と地域が協働で子どもを育む基盤づくりをする。

事業の実績		優先度	
目的を達成するために実施した事業	細 事業名	事業の説明	
	家庭教育推進事業	家庭教育力の向上を図るため、市内幼稚園が学区内の小中学校と実行委員会を組み、備前市親育ち応援事業を連携・実施する。	◎
	子ども情報センター運営事業	子どもの地域における体験活動・奉仕活動の機会や家庭教育の支援等に関する情報を子どもたちが容易に入手できるよう情報紙を発行し、体験活動・奉仕活動への参加等の支援を行うことを目的とした事業。	◎
		子ども情報センター編集委員報酬 48千円	
		講師謝礼 138千円	

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	680	713	780
	必要人員	人	0.40人	3.189	2.195
	事業費	千円	3,869	3,395	2,975
	国 県 支 出 金	千円			
財 源	千円				
受 益 者 負 担 金	千円				
一 般 財 源	千円				
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	情報紙ときめきなび発行部数	部	20,000	20,000	20,000
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,680,486	2,081,169	1,794,404
	単位当たりコスト	円	134	104	90

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		90	90	90	100
	実績値 (B)			93	98	到達目標値
	達成率 (B/A)			103.33%	108.89%	100

成果指標設定の考え方・式や説明

家庭教育の重要性を多くの保護者に啓発するため、市内全小学校で就学前健診や一日入学等の機会に識者による講話やワークショップを行う「親育ち事業」を実施する。

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

事業の目的やその数値目標に留意しな

進行年度 (H28年度) の改革改善内容	
状 況	拡充 ○ 現状継続 ○ 見直し ○ 縮小 ○ 整理統合 ○ 休止 ○ 廃止・完了 ○
説 明	共働き世帯の増加等、社会の変化等から保護者の子どもとの関わりに変化が生じ、家庭教育力が低下している。備前市の将来を担う子どもの豊かな成長に資するため、保護者に対し、親育ち事業等を通じ、家庭教育の重要性を保護者に啓発していく。

総合評価	
備前市の親育ち応援事業及び修学準備事業について、内容を一層の充実を図り、市内全域での実施ができるよう働きかけをする。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B

平成29年度の方向性・取組目標	
方 向 性	拡充 ○ 現状継続 ○ 見直し ○ 縮小 ○ 整理統合 ○ 休止 ○ 廃止・完了 ○
取 組 目 標	引き続き、家庭教育の学習機会の充実を子育て支援情報の提供、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進めていく。

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年度～	根拠法令・例規等	備前市青少年育成センター設置条例 備前市補助金等交付規則
総合計画	大項目	基本構想	01	重点政策「教育」	問 合 先 先 職・氏名 係長 大西 健夫 電話 64-1841 このシート作成に要した時間 1.5 時間
	中項目	基本計画	01	将来を担う人材が育つまち	
	小項目	施策	01	家庭教育支援と青少年教育の充実	
事務事業名		02	青少年健全育成事業		

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前市内の20歳未満の青少年。(備前市在住・在勤で35歳以下の青少年及び団体の指導者)	
目的 (何のために)	青少年の健全な育成を期する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を未然に防止し、各種啓発活動により家庭・地域・学校が一体となって健全育成活動の充実を図る。(少年期の貴重なボランティア体験を行えるFOS少年団の活動継続により、地域社会への積極的参画・参加による地域の活性化を図る。)	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	青少年健全育成推進本部補助事業	市民の総意を結集し、地区青少年健全育成会との連携を深め、県及び市の施策と呼応して次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的に組織された備前市青少年健全育成推進本部の事業の補助を行う。	◎
	青少年育成センター運営事業	備前市内の青少年の健全な育成を期するため、関係機関及び団体等との密接な連絡調整のもとに、青少年の非行を防止するとともに非行青少年の指導に努めることを目的に設置した青少年育成センター施設の管理運営。	○
	備前市FOS少年団補助事業	市内の青少年が野外交歓大会や奉仕活動等を通じて、「友情・秩序・奉仕」の精神を養うとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図ることを目的とした各種事業を行う備前市内のFOS少年団に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	○
		青少年育成センター地区指導員報酬 450千円	
		青少年育成センター指導員報酬 7938千円	
		県少年補導連絡会負担金 5千円	
		県青少年育成県民会議負担金 3千円	
		市青少年健全育成推進本部補助金 1,300千円	
		FOS少年団補助金 275千円	

決算額	事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
	事業費	千円		11,191	10,235	10,772
	必要人員	人		0.66人	0.68人	0.77人
	事業費	千円		5,765	6,376	7,139
	事業費	千円		16,956	16,611	17,911
	国県支出金	千円				
受 益 者 負 担	千円					
財 源	千円					
一 般 財 源	千円					
受 益 者 負 担 比 率	%					
結果指標名	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績		

結果指標	育成センター相談件数	説明	育成センター相談件数		
	結果指標量	件	72	73	66
	対前年比	%	-	101.4%	90.4%
	活動コスト	円	12,332,000	10,222,000	11,319,000
単位当たりコスト	円	171,278	140,027	171,500	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成27年度事業)

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)	900	900	900	900	
	実績値(B)	872	731	645	到達目標値	
	達成率(B/A)	96.89%	81.22%	71.67%	900	
成果指標設定の考え方や説明						
近年は、学校や市内各地域との連携強化をはじめ、きめ細かな街頭指導や親身な対応する相談業務、青少年のための環境浄化活動を粘り強く継続してきたことが奏功し、青少年の健全育成に関して成果が出てきている。しかし、こういった活動に取り組む過程において、子どもだけでなく家庭の教育力も高めなくては必要であるという課題が浮き彫りになってきた。そこで、保護者を対象に青少年の健全育成を目的とした講演会及び懇談会等の参加者数を成果指標に設定した。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い 通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い 通やい 高 低 い
	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低い 通やい 高 低 い

事業の目的、指標、その数値目標に留意しな

進行年度 (H28年度) の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	青少年の健全育成を目的とした保護者を対象とした学習事業については、参加者のニーズにマッチした内容を構築し、必要に応じて学習をリードすることができる人材を養成するなど有意義な学習機会となるよう引き続き工夫する。					

総合評価		総合評価
青少年の健全育成を図るためには、様々な環境の整備が必要である。単なる非行補導に留まらず、非行発生を予防するため、今後も、学校・家庭・地域における団体と連携・協力した取り組みを行う必要がある。		総合評価 ABCDE 高や普や低い 通やい 高 低 い

平成29年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	事業内容の見直しを行うとともに、学校・家庭・地域の関係機関との連携・協力により、青少年の健全育成を図る。					

Action